

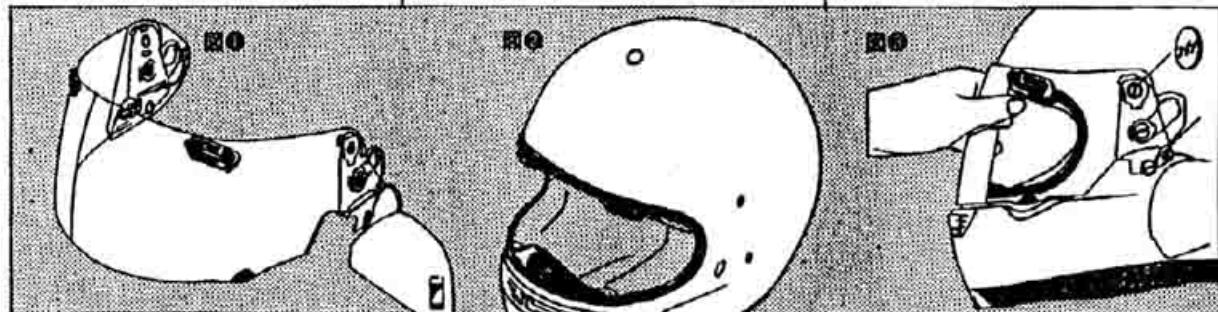
ARAI NEWS

'89年レース用ヘルメットに注目

'89年を迎え、レースシーンにおいても、スベンサーの復活、シュワッツ、サロン、マモラの活躍、新鋭ドーハンがどんな走りを見せてくれるかなど、期待に胸が高鳴ってきています。特に今年は皆さんに注目していただきたいことがあります。アライ契約ライダーのヘルメットからネジが消えることになりました。そうです、全員がアドシス装着モデルをかぶることになったのです。

すでに'89年にもマモラとサロン両選手に、GIGAをかぶってもらっていましたが、これが思いのほか好評で、他のGPライダーからも、同じモデルにしてくれないかと要望を受けていました。特にシュワッツ選手からは強く言われたので、一個だけテストのつもりで、GIGAベースで作ってあげたのですが、その後のレースでも、アドシス付きのものでなければ走りたくないからと、GIGAをかぶり続けて、アライでも因襲してしまう程でした。

なぜ、トップライダーからこんなにアドシスがうけるのでしょうか。一番大きな理由は、道具屋らずで素早くシールド交換できるので、天候がたとえ急変してもすぐに対応できることでしょう。でもこれだけではありません。実は、目立たない事なんです。シールドの裏側に汚れた時や、ライダーが独自に持っている磨り止めを塗る時に、シールドを素早く外して全体をくまなく拭けることや、磨り止めを塗れるといったことが突戦レ-



スでは非常に有効なのです。そんな訳で、'89年にはアライのすべての契約ライダーが、アドシス装着モデルになります。世界GPでは、一部のアストロVベースが好きという人々を除きGIGAベースとなります。全日本では、殆どのアライライダーがアストロVをベースとしたものになる予定です。

アドシスキットパーツに注目

ところで、レースで今一番注目されているアドシスを、ラバイドやアストロVなど、アドシスを装着していないモデルにも取り付けられるキットパーツが発売されています。このキットパーツは、図①のように、そのまま取り付けられるよう



にパッケージされています。ですから取り付けのための面倒な手回しや改造をまったく必要としません。まず現在ついているシールド、ホルダー、パッキンなどすべて取り外してください。(図①)次に位置を合わせて、シールドを押さえながらネジを締め(図②)、最後に図③のようにホルダーをかければ、即、最新のアドシスタイプとなります。通常のシールド交換となんら変わらぬ手間で交換できる訳です。ちょっと前のモデルでも、最新のシステムが簡単に取り付けられるキットパーツは、ラバイド系のNタイプ、アストロV系のLタイプどちらも¥5,400で発売されています。FVやFTに取り付けられるFタイプも近日発売されます。ぜひ試してみてください。

'89年アライライダーに強い味方



(株)アライヘルメット
〒330 埼玉県大宮市東町2-12
TEL(0486)41-3825~7



●アフターサービスの窓口は品質管理課です。
製品の事なら、お気軽にご相談ください。
直通 TEL (0486)45-3661